



今回は、兵庫区出身の落語家で、神戸市文化奨励賞を受賞された桂あやめさんに落語の魅力と喜楽館をより楽しめる注目ポイントをお聞きしました。



Point 1 一番太鼓

開場を知らせる太鼓。喜楽館では、入り口のアーチの下で打たれます。一番太鼓を聞きに毎日訪れるお客さんの姿も。



リズムよく太鼓をたたく、桂おとめさん

Point 2 開演前のお囃子生演奏

開演を知らせるにぎやかなお囃子の音。お囃子さんの三味線に合わせて、太鼓や笛などを落語家さんが舞台袖で演奏しています。毎回少し違うお囃子の音を楽しんでみては、

Point 4 写真映えの撮影スポット

ロビーの赤いカーペットの階段。周りが全面白い壁なので、実はとってもきれいに写真が撮れるんです。大勢で撮ると迫力がありますよ！



断家プラスバンドの皆さん(前列左が桂あやめさん)

Point 3 終演後の送り出し

終演後、出演した落語家さんがロビーでごあいさつ。つい先ほどまで高座に上がっていた落語家さんとお話ができたり、写真が撮れたり。喜楽館では、これが自然と始まったそうですよ。



「あの話、面白かったわ!」とお客さん

Point 5 落語家の実は…

お客さんから「今日の公演は何をされるの?」とまちで聞かれることがありますが、基本、演目は事前に決めません。前の落語家の話を聞いたり、舞台に出てからお客さんを見て「これにしようかな、…」と決めるんです。

喜楽館の公演スケジュールやチケット購入については、公式ホームページをご覧ください。

喜楽館 検索

☎078-335-7088